

シラバス	教科名	理科	学年	1年
------	-----	----	----	----

1. 年間の学習計画

月	学習内容	学習のねらい
4	自然の中にあふれる生命 いろいろな生物とその共通点	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につけさせる。 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけさせる。 身近な植物・動物についての観察を通して、生物の調べ方の基礎を学習するとともに、生物の体のつくりの特徴を理解させ、共通点や相違点、多様性に気づかせ、生物の世界についての総合的な認識を深める。 また、単元の学習を通して、生物の多様性の尊さに気づかせ、その保全や生命尊重の態度も育てたい。
5	1. 植物の特徴と分類 2. 動物の特徴と分類	
6	光・音・力による現象	
7	1. 光による現象	
9	2. 音による現象	
10	3. 力による現象	
11	身の回りの物質 1. いろいろな物質とその性質 2. いろいろな気体とその性質	理科の見方・考え方をはたらかせながら、身のまわりの物質に関する探求的な学習を通して、物質の持つ基本的な性質の理解を深めさせるとともに、観察・実験などを行うために必要な基本的な技能を習得させ、思考力・判断力・表現力や主体的に探求しようとする態度を養う。
12	3. 水溶液の性質 4. 物質のすがたとその変化	
1	活きている地球 1. 身近な大地	理科の見方・考え方をはたらかせながら、大地の成り立ちと変化に関する探求的な学習を通して、地表に見られる事物・現象と関連づけながら、絶えず活動し続ける地球の姿についての理解を深めさせるとともに、観察・実験を行うための基本的な技能の習得、科学的に探求するために必要な思考力・判断力・表現力・主体的に学ぶ態度を養う。
2	2. ゆれる大地	
3	3. 火をふく大地	
3	4. 語る大地	

2. 評価の観点と主な評価方法

評価の観点	主な評価物
知識・技能	・定期テスト ・実験操作など(器具の使い方を正しく理解し、操作できるか)
思考・判断・表現	・定期テスト 授業内における発言内容 ・ノートやレポートの記述内容(自分の考えを書けているか)
主体的に学習に取り組む態度	・授業への取り組み 課題に対する姿勢など

3. 家庭学習の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・授業の復習を必ず行い、次の授業に備えましょう。 ・机の上での勉強が全てではありません。様々なことに興味を持ち、疑問に思ったことは調べてみましょう。 ・ワークは何度も解けるように、分冊のノートまたは自分で用意したノートに書き込み、本誌には書かないようにしましょう。
--

※年間予定は学校行事等で変更の可能性がありますのでご了承ください。